



ここがグループホームだよ！ ユニットつぐみだよ！

障害者支援施設足羽更生園から男女14名の方が地域移行を行い、グループホームあすわでの新生活を始めました。

移行当初は、初めての生活場所・慣れないことばかりで戸惑いしかありませんでしたが、半年経った今では、新しい生活にもだいぶ慣れ始め楽しそうに生活しています。

また、個々に行きたい場所や買い物へ行く個人外出、みんなで外食などへ行くグループ外出など、新しい生活でいろいろなことにチャレンジしています。

今回は、その中のひとつである女子ユニット【つぐみ】の紹介をします。

グループホーム 移行後の様子

グループホームあすわのユニットつぐみは女性6名の利用者の方が現在生活しています。

移行当初は今まで生活してきた場所とは全く違う環境ということもあり、不安な表情をしながら過ごすことも見られました。初めての世話人や職員に自分のことを理解してもらえないのか心配だったのかもしれない。

日中活動先も、移行するにあたり3か所になりました。出発時間が違い、活動場所から戻る時間もバラバラなので、本当に帰ってくるのが不安になり、まだ帰らないのかと大きな声が出た方もいました。

それでも、足羽更生園での大人数の生活とは違い、少人数での生活になったことから、利用者の方一人ひとりの思いを聞き、対応することに取り組みました。

生活をしていくにつれ

少しでも不安なことが軽減できるように、支援に入る職員の視覚情報を作成したり、スケジュールを提示したりしました。また、利用者の方一人ひとりとコミュニケーションを取り、利用者の方が安心して生活できる環境作りを行いました。そのこともあつてか、徐々に利用者の方から不安な表情はなくなっていきました。

日中活動の送迎時にも「お迎え来たよ！」と声を掛け合っています。新しい職員や世話人にも慣れ「あした遅出か」「ごくろうさん」などと、言葉をかけてくれる利用者の方もいらつしやいます。食事でも職員が皿に盛りつけているのを、そばで見ることができ「おいしそうや」「ごちそうさま、ありがとう」など笑顔で言葉をかけてくれます。

楽しいイベント たくさん♪

グループホームで生活するにあたって、利用者の方が楽しく過ごせるように、お菓子作りや食事作りをしたり、天気の良い日は公園に出かけたり、散歩に出かけるなど利用者の方と一緒に過ごす時間を大切にしています。



みんなで
式部公園まで
ドライブ♪

また、利用者の方一人ひとりに、何がしたいか、どんなことがしたいか、困っていることはないかなどを確認するために、月に1回自治会を行っております。利用者の方から出た意見を参考にし、外出先を決めたり、生活環境を整えるようにしています。



お好み焼き作り(^^)/



ぶどう
狩り♪

秋口には自治会で「ぶどうがたべたいわ〜」という言葉が聞かれたので、ぶどう狩りを体験してもらおうと職員で話し合い計画しました。初めての遠出の外出ということ、ぶどう狩りに出掛ける事を伝えると、笑顔で「いくんか!」とうれしそうにしていました。外出当日になり、現地に到着すると、大きなぶどうを見て「ぶどうや!」と笑顔で伝えてきて、利用者の方みんなでぶどうを取って、食べて、楽しい一日を過ごしました。

まとめ

新しく誕生したグループホームというと、フレッシュなイメージがありますが、このユニットつぐみは平均年齢58.2才です。決して若くはない彼女達が、長い施設生活から地域移行を決めた理由は、先に地域移行した人達が誰も施設に戻られず、次は自分もその場所に行きたいと願った方、いずれは老人施設に行くかもしれないけれど元気なうちに家庭的な環境でいろいろな体験をしてほしいと家族が願った方などさまざまです。

その思いをしっかりと受け止め、つぐみでの生活が穏やかに過ごせるようにスタッフ一同取り組んでいます。

グループホームあすわ
ユニットつぐみ
管理者 吉村宜利子